

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第1区分
【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公開番号】特開2004-12247(P2004-12247A)
【公開日】平成16年1月15日(2004.1.15)
【年通号数】公開・登録公報2004-002
【出願番号】特願2002-164810(P2002-164810)

【国際特許分類第7版】

G 0 1 C 21/00
G 0 8 G 1/0969
G 0 9 B 29/10

【F I】

G 0 1 C 21/00 G
G 0 8 G 1/0969
G 0 9 B 29/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月13日(2004.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

以上のような図7および図8のような処理により、プロセッサ11は、ドライバの疲労度を最小にするような1つの経路を探索できるようになり、その結果、従来のように、ドライバがいくつかの経路候補の中から1つを選択する必要が無くなる。また、図4に示すモード登録テーブルT_{r_m}を、経路探索装置1の起動時にワーキングエリア13に読み出し、その電源をオフにする直前に記憶装置14に待避させることにより、プロセッサ11は、ドライバの手を煩わせることなく、疲労度優先モードおよび距離優先モードのどちらか一方を特定すること可能となる。これらにより、より安全性を考慮した経路探索装置1を提供することが可能になる。さらに、ドライバの選択に合った、モードを選択できるようになるので、より使い勝手の良い経路探索装置1を実現できるようになる。また、経路探索装置1は、距離T_{D_k}を考慮した経路探索をさらに行うことができるので、終了地点まで早くたどり着きたいというドライバのニーズに応えることが可能になる。